
令和5年度予算第一特別委員会質問要旨

○ 局別審査

令和5年3月1日

質問者（質問順）

- 1 古谷靖彦 委員（共産党）
- 2 福地 茂 委員（自民党）
- 3 関 勝則 委員（自民党）
- 4 大野 トモイ 委員（立憲党）
- 5 斎藤 真二 委員（公明党）
- 6 二井 くみよ 委員（民主フ）

健康福祉局

局 別 審 査

1 古 谷 靖 彦 委 員 (共 産 党)

1 障害者グループホームの設置促進について

- (1) 障害者グループホームの整備を進めるにあたっての考え方を伺いたい。
- (2) 障害種別や障害の度合いに応じてグループホームを計画的に整備すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 精神障害者のグループホームの施設整備が不足しているので増やすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 住まいの場の選択肢を増やしていくため、グループホームのニーズを把握し、整備を進めていただきたい。

2 横浜市自閉症協会からの要望への対応について

- (1) 「養護者亡き後の生活の安心」に対する現状認識を伺いたい。
- (2) 強度行動障害の障害特性と課題についての認識を伺いたい。
- (3) 強度行動障害への施策の展開について伺いたい。
- (4) 強度行動障害のある人の増加に対する原因分析の有無を伺いたい。
- (5) 強度行動障害のある人に対応できる入所施設の充足状況についての認識を伺いたい。
- (6) 施設の数がこのままでは足りないという認識で対応すべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 横浜市就労支援センターについて

- (1) 設置目的と役割を伺いたい。
- (2) 今後の在り方・目指すべき方向性について、当事者も交えて、速やかに定めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) センターと高等特別支援学校との連携会議を定期的を開催すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(4) 本市にある特例子会社の数を伺いたい。

(5) センターと特例子会社が連携・情報交換する場を本市がつくるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(6) 障害者の雇用に関わる方々が一堂に集まる場を本市が率先して設置していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

1 局再編に伴う保健所機能の移管について

- (1) 保健所機能が移管することによる健康福祉局側の感染症対策の課題の有無とその対応を伺いたい。
- (2) 区役所業務への影響とその対応を伺いたい。

2 ウクライナ避難民への支援について

- (1) 国民健康保険と介護保険の加入者数を伺いたい。
- (2) 保険料の支払いが困難な方々への対応を伺いたい。

3 医療的ケア児・者への支援について

- (1) 多機能型拠点の現在の整備状況を伺いたい。
 - (2) こども青少年局、教育委員会、医療局、健康福祉局の4局で取り組んでいる具体的な支援策を伺いたい。
 - (3) 支援策の推進にあたっての課題を伺いたい。
- (要望) 医療的ケア児・者の存在が広く地域にも知られ、理解が深まり、支援が増えるよう施策を充実させていただきたい。

4 障害者のスポーツについて

- (1) 横浜ラポールでの障害スポーツを始めるきっかけづくりの取組を伺いたい。
- (2) 横浜ラポールでの障害者アスリート対象の取組を伺いたい。
- (3) 今後の障害者スポーツ推進への意気込みを伺いたい。

5 障害者グループホームの制度改正に伴う運営上の課題について

- (1) 報酬改定によるグループホームへの報酬額の変化を伺いたい。
 - (2) グループホーム支援をどのように行っていくのか伺いたい。
- (要望) 国の報酬改定による報酬減額と本市独自の加算制度との差について、しっかり検討してもらいたい。

6 障害福祉分野の人材確保について

- (1) 障害福祉分野の人材不足解消に向けた取組を伺いたい。
- (2) 今年度の就職フェアの開催結果の所感と令和5年度に向けた考え方を伺いたい。
- (3) 障害福祉の仕事の魅力を伝えるのは行政の役割であると考えているが、見解を伺いたい。
- (4) 今まで作成した広報ツール等を効果的に活用して障害福祉の魅力発信をしていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 現場の職員がモチベーション高く働き続けられる取組として、障害福祉の仕事に従事する人の表彰制度などを検討していただきたいと考えるが、見解を伺いたい。

7 こころの健康対策について

- (1) メンタルヘルス対策の重要性に対する認識を伺いたい。
- (2) 早期に相談できる環境整備が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) こころの健康対策や普及啓発の充実によって、早期発見、早期支援につなげていただきたい。

8 障害理解の促進について

- (1) 社会の障害理解を促進するための取組を伺いたい。
- (2) 障害理解を促進していくための課題と解決策を伺いたい。
- (3) 障害理解の促進が最も重要と考えるが、所感を伺いたい。

1 財源創出の取組について

（１）局として取り組んだ財源創出の取組を伺いたい。

（要望）持続可能な施策を実施していくために、歳出改革を進めていくことは必要だが、そのために市民生活の安心・安全を確保するために必要な予算までもが影響を受けることがあってはならない。局としてもその点を踏まえたうえで、今後も継続して財源創出の取組を進めていただきたい。

2 市営斎場・市営墓地について

（１）予約システムを改修することで利用者の利便性が向上すると考えるが、改修の考え方を伺いたい。

（２）東部方面斎場の整備スケジュールを伺いたい。

（３）市営墓地整備の今後の方向性を伺いたい。

3 就労支援について

（１）生活にお困りの方の就労支援の実績を伺いたい。

（２）生活にお困りの方の就労支援の課題を伺いたい。

（３）生活にお困りの方の就労支援の今後の取組を伺いたい。

（４）ひきこもり状態にある方の自立した生活として、働くことを踏まえた支援が重要と考えるが、見解を伺いたい。

（５）障害のある方が企業等で働くための取組を伺いたい。

（６）就労支援の新たな課題と、対応の方向性を伺いたい。

4 再犯防止推進計画について

（１）計画を策定した経緯を伺いたい。

（２）計画における社会的孤立の防止への取組を伺いたい。

（３）官民一体となって、再犯防止の取組をさらに進めていく必要があると考えるが、見解を伺いたい。

(要望)再犯防止の取組は犯罪に苦しむ新たな被害者を生まないことにもつながる。
より一層取組を推進していただきたい。

5 小児医療費助成事業について

(1) 小児医療費助成における国や県への働きかけを伺いたい。

(要望) 制度の本質を忘れることなく、持続可能な制度運営に取り組んでいただきたい。

1 災害時要援護者支援事業について

- (1) 災害時要援護者支援事業の取組を進める上での課題について伺いたい。
 - (2) 令和4年度個別避難計画モデル事業実施における評価について伺いたい。
 - (3) 個別避難計画の対象とならない方へのアプローチを強化すべきと考えるが見解を伺いたい。
- (要望)自力での避難が困難な要援護者が、個別避難計画の作成などの取組により、災害時に安全に確実に避難ができるよう、地域との連携方法も含めて引き続き取組を進めていただきたい。

2 要電源障害児者等災害時電源確保支援事業について

- (1) 事業の拡充内容について伺いたい。
 - (2) 支援が必要な方にわかりやすい広報を行い、大いに利用してもらおうと思うが、見解を伺いたい。
- (要望)電源喪失を伴う大災害や風水害による停電が発生する前に、少しでも早く、必要な方に非常用電源が届くよう、しっかりと広報していただきたい。

3 災害時のペット対策について

- (1) 避難所でのペット同行避難の取組状況について伺いたい。
 - (2) ペット同行避難の受け入れのための啓発をどのように進めているか伺いたい。
 - (3) 避難所でのペットの飼育管理方法の周知をさらに推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望)各避難所において発災時の運営が円滑に行えるよう、災害時のペット対策に引き続きしっかりと取り組んでいただきたい。

4 高齢者の社会参加促進について

- (1) よこはまシニアボランティアポイント事業の現状について伺いたい。
- (2) よこはまシニアボランティアポイント事業の活性化に向けて、どのように取

り組むのか伺いたい。

(3) 老人クラブ助成事業の拡充内容について伺いたい。

(4) これからの老人クラブへ期待することについて伺いたい。

5 認知症施策の推進について

(1) 認知症の方を見守る取組について伺いたい。

(2) 見守りシールの課題と今後の取組について伺いたい。

6 重度障害者の就労時の支援について

(1) 重度障害者等就労支援特別事業が具体的にどのような事業なのか伺いたい。

(2) 重度障害者等就労支援特別事業によって、どのような効果を期待しているのか伺いたい。

(3) 令和5年度から新規事業とすることへの意気込みについて伺いたい。

(要望) 障害のある人もない人も、誰もが自分らしくいられ、それぞれの人々の能力が発揮され、共に地域で暮らすことのできる、地域共生社会の実現が進むよう、引き続きしっかりと取り組んでいただきたい。

7 受動喫煙防止対策事業について

(1) 市民向けの周知啓発の実績について伺いたい。

(2) 持病のある方や妊婦など、大人向けの受動喫煙防止対策も推進すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 誰もが受動喫煙から守られる横浜の実現に向け、対策を進めていただきたい。

1 高齢者がいきいきと活躍できる環境づくりについて

- (1) 人との交流を後押しするような取組を力強く進めていくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (2) 高齢者が自身の知識や経験を生かして活躍できるよう、より一層の環境整備が必要と考えるが、見解を伺いたい。

2 認知症対策について

- (1) 認知症の早期発見・早期対応の取組について伺いたい。
- (2) 認知症の発症を遅らせるためにも、MC I と診断された方に対する支援にしっかりと取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 認知症の早期発見・早期対応の取組とMC I と診断された方への支援を着実に進めるとともに、MC I と認知症の理解促進の取組を進めていただきたい。

3 高齢者施設・住まいの相談センター運営事業について

- (1) 相談センターの相談実績について伺いたい。
- (2) 土日相談やオンライン相談を実施する狙いについて伺いたい。
- (3) 特別養護老人ホームの待機期間短縮に向けた意気込みについて伺いたい。
- (要望) 土日相談やオンライン相談が、これからも市民にとって大切な相談場所となるようにしていただきたい。

4 介護人材確保に向けた若い世代への取組について

- (1) 若い世代から介護の仕事がなかなか選ばれない原因について伺いたい。
- (2) 介護職員出前授業に期待する効果について伺いたい。
- (3) 介護人材確保に向けた若い世代への取組について伺いたい。
- (要望) 介護人材の確保に向けた若い世代への取組をさらに推進するとともに、引き続き国に対して介護職員の処遇改善を働きかけ、介護事業所が賃金の処遇

改善を受けられるよう支援していただきたい。

5 健康横浜 2 1 の推進について

- (1) 第3期計画を歯科口腔保健推進計画及び食育推進計画と一体的に策定する意義について伺いたい。
- (2) 第3期計画の方向性について伺いたい。
- (3) 令和5年度の実施について伺いたい。
- (4) 中期計画基本戦略「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」の実践に向けた考えについて伺いたい。

6 小児医療費助成事業について

- (1) 確実な実施に向けての実施について伺いたい。
- (2) 対象者への周知・広報の具体的な実施について伺いたい。

7 ひきこもり相談支援事業について

- (1) ひきこもり支援課の相談実績について伺いたい。
- (2) 電話相談における支援内容とその効果について伺いたい。
- (3) 中高年向け相談窓口における支援内容について伺いたい。
- (4) 中高年のひきこもり支援における今後の実施について伺いたい。

1 小児医療費助成事業について

- (1) 申請書の発送にかかる予算額について伺いたい。
- (2) 申請が必要な理由、省略できない理由を伺いたい。
- (3) 申請期限までに申請できなかった場合の救済策を伺いたい。

2 小規模多機能型居宅介護事業所及び看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備について

- (1) 直近3か年における整備実績を伺いたい。
- (2) 未整備圏域の状況について伺いたい。
- (3) 今後に向けて、整備促進の取組をさらに展開していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

3 地域福祉保健の推進について

- (1) 市民後見人の養成をさらに進めるべきと考えるが見解を伺いたい。
- (2) 民生委員の担い手を増やしていくため、次年度どのようなことに取り組むのか伺いたい。
- (要望) 成年後見制度を含めた権利擁護の取組を一層進めていただきたい。
- (要望) 担い手を増やすためには、金銭的なインセンティブが有効であると考えますが、法律で民生委員は無報酬と定められている。地域の声をよく聞き、必要があれば国へ制度改善を求めていくなど、社会情勢の変化に合わせた担い手確保策を進めていただきたい。

4 生活困窮者の自立支援について

- (1) 生活困窮者の支援に関する情報を届けるための取組について伺いたい。
- (2) 相談したい内容と違った窓口に行ったとしても、適切な相談窓口につなげることのできる仕組みが必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 一人でも多くの市民に情報が行き届き、相談に行きやすくなるよう環境を

整えていただきたい。

5 メンタルヘルス対策について

- (1) 利用者が生活支援センターを利用するに至る経過を伺いたい。
- (2) 生活支援センターの利用回復に向けた取組を伺いたい。
- (3) 生活支援センターと地域との連携についてどのような課題感を持っているのか伺いたい。